

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 金曜日 1・3校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	日本語Ⅲ Advanced JapaneseⅢ		
対象年次 1・2年次	講義形態 演習	教室 229	
対象学生(クラス等) 留学生・全学部	科目分類 留学生用科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 高野泰邦 /Eメールアドレス:ytakano@nagasaki-u.ac.jp /研究室:留学生センター /TEL:095-819-2241 /オフィスアワー:金曜日 10:30~11:50			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 現代の日本社会の中に存在するさまざまな問題をテーマにした文章を基に、大学生生活に必要な日本語の総合的な技能(読む力、考える力、調べる力、書く力、話す[発表する]力)を身に付けさせる。 授業方法: 学習目標が具体的に理解できるように以下のような方法で各授業を展開する。①テーマについて背景となる情報を提供する。②難解語句などの説明をする。③各学生に音読をさせ、その部分の要旨を述べさせる。④必要があると判断した場合は質問等をして理解しているかどうかを確認する。⑤テーマ全体について感想等を述べさせる。なお、発表のための準備として、テーマの決定、作文の指導・添削、発表の練習をし、発表させる。 授業到達目標: 論理的に構成された文章が読める。論理的に考えることができる。あるテーマについて自分の意見を論理的に述べることができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要): 現代日本社会の中に存在するさまざまな問題をテーマにした文章を読み、日本語・日本文化についての理解を深めるとともに、それらについて学習者各自が論理的に組み立てた考えを発表する機会を提供することにより、学習者に日本語の総合的な表現能力を身に付けさせる。 各回2コマ 第1回 オリエンテーション/日本の家族 第2回 日本の家族 第3回 長生きは幸福か 第4回 長生きは幸福か 第5回 躰と教育 第6回 躰と教育/体罰 第7回 体罰 第8回 体罰と成長の関係 第9回 体罰と成長の関係 第10回 尊厳死 第11回 尊厳死 第12回 表現演習 第13回 表現演習 第14回 発表会・質疑応答 第15回 発表会・質疑応答/総まとめ/学生による授業評価			
キーワード	日本社会探検、読む、考える、意見を述べる		
教科書・教材・参考書	日本の論点から抜粋したものなど		
成績評価の方法・基準等	予習10%、授業への参加度30%、作文30%、発表30%を総合的に評価します。		
受講要件(履修条件)	日本語能力試験2級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	上級日本語		
備考(準備学習等)			